



Enjoy!!

こんにちは!

せいよ家庭教育・子育て応援グループです♪



せいよ家庭教育・子育て応援グループは、保護者の方が安心感と自信をもって家庭教育を行えるよう、子育ての仲間づくりやまなび合いの機会を提供したり子育て相談を受け付けたりしています。

当グループは、平成20年度に設立され、文部科学省「家庭教育支援チーム」の登録を受け、現在は、元教員や元保育士、主任児童員、保健師、子育て中のお母さんを含めた10名で活動しています。

そもそも

家庭教育ってなんだろう?

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子どもたちの将来に大きな影響を与えるとても大切なものです。家族のふれ合いを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。



こんな活動をしています♪

親子参加型イベント

自然遊びやクッキングなどの体験活動を通して、参加者同士が交流を深め、子育てのちょっとした疑問や不安を気軽に話し合える場を提供します。



～令和7年度実施予定～

- ★ものづくり 7/5(土)
- ★おやこでクッキング♪(10月予定)
- ★洞窟探検(11月予定)



子育て相談



家庭教育や子育てに関する相談を随時受け付けています。

子育ては、多くの喜びを感じられる一方で、悩みや不安に襲われることもしばしばあります。悩みや不安を誰かに話すことで、気持ちが和らいだり、解決の糸口が見えてきたりするものです。

どんな些細なことでも大丈夫です。お気軽にお電話ください。詳しくは、裏面「子育て相談」をご覧ください。

就学前ワークショップ



小学校就学時健診(入学説明会)時に、保護者同士でグループトークを行い、就学に向けての準備や気になることなどを共有し、前向きな気持ちで入学を迎えられるようサポートします。

子育て応援情報紙「わくわくステーション」

活動の様子や「親子共育」をテーマにした子育て中の保護者の声を紹介し、子育てに関する情報や学びを共有します。年に3回発行します。

本紙が令和7年度発行分の第1号です♪

昨年実施した
宇和町小学校の様子です♪





親子共育

～親として共に歩み、心を育む～



『言い間違い』

数年前、長男が生後2ヶ月のときに、県外から西予市へ引っ越してきました。それから次男も生まれて、現在2人兄弟の母です。

怒ったりもしますが、一緒にいると毎日面白い事だらけです。子どもとの時間は一瞬で過ぎ去ってしまうとよく聞きます。最近なくなってきて寂しいなと思ったのが「言い間違い」。次男が今よりも少しちいさかった頃、それがたくさんあり面白かったのです。例えばテレビをペでりと言ったりします。完全に後者の方が言い難そうですが、それは私がテレビという言葉に慣れているだけなのです。他にも手袋を「ぷむぷる」、速さを意味するスピードは「びしーぼ」、消防車を「ぼうそうしゃ」と呼びます。暴走しちゃったか。正しくはしょうぼうしゃだよ、と親として訂正しなければいけない場面ではありました。ですが正直、もう1回言ってほしい。正しく言えるようになるまで、ぼうそうしゃを噛み締めていたい気持ちがあり、結局スルーし続けました。あと笑っては失礼なので、なんともない顔をして聞いていました。(ちょっと笑ってたかもしれないけど)そこへ一緒に聞いていた長男、彼も素直なものですから「違うけんそれ!」と爆笑しちゃうんです。面白いから仕方ないっちゃ仕方ない。次男もちょっと「うまく言えないなあ」と思っていたかもしれませぬ。笑われるといい気分はしないので怒ります。でもね長男よ、君だって1年くらい前まで必殺技のこと「ひっさつざわ」って言ってたんやで。わたしの子どもの頃も言い間違いあったのかな。今度聞いてみよう。覚えてるかな?

今では聞けなくなってしまったぼうそうしゃ。もうちゃんと言える消防車と必殺技。昔も今もどっちも愛しいです。わたしも子どもたちも成長したりサボったり、でも確実に時間は過ぎていくので今日この毎日を大事にのんびり過ごしていきたいです。

～子育て中のお母さんより～

子育て相談

親の笑顔が子どもの笑顔をつくります

子どもにとって「家庭」は最も身近に接する社会であり、常に子どもの心よりどころとなるものです。

毎日の生活の中で、子どもとのコミュニケーションやしつけについて戸惑いや息詰まりなど、一人で悩んでいませんか?



☎ 0894-62-6415 (まなび推進課)

月～金曜日 9:00～17:00 (祝祭日を除く)

電話受付後、グループ員が折り返し連絡し、相談日時を決定します。

- 相談は無料です
- 秘密は固く守ります
- お子様連れでも大丈夫です
- 元教員や元保育士、子育て中のママさんが対応します
- 必要な場合は、専門機関との橋渡しをお手伝いします

